

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
6	大園 たつや	日本共産党		

発言の要旨

- 1 市長の政治姿勢について
  - (1)多機能複合型スタジアムを物心両面でともに整備を目指せる企業・サポーターを探し民間主導にする考えはないか
  - (2)明和小中一貫校の在り方に対する地域住民の記者会見についての受け止めと地域でのアンケートの内容についての見解
  
- 2 こども医療費助成制度の充実について
  - (1)市独自の現物給付実施など思い切った拡充に踏み切ったことやその効果についての市長の思い
  - (2)拡充後の中核市の中での位置づけ（人口 50 万人以上の自治体）
  - (3)現物給付を独自に実施した場合「制度から外れてもらう」との県のこれまでの見解と制度の実施時期を来年 4 月からとした関係
  - (4)今後の課題について
    - ①国保の保険者努力支援制度での対応が受診抑制につながらないように国に求めるべき
  
- 3 障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）の一部有料化の検討について
  - (1)現行制度の継続を求める署名の内容と特徴的な市民の声
  - (2)署名についての当局の受け止め
  - (3)有料化の検討状況及び質の確保についての今後の対応
  - (4)市民団体から市長に寄せられた手紙の内容と市長の所感
  - (5)子どもの権利条約第 23 条第 3 項の内容とそのことを踏まえ現行制度を継続すべき。見解
  
- 4 児童クラブの待機児童解消と課題について
  - (1)待機児童数について
    - ①過去 3 年間の待機児童数
    - ②直近の待機児童数の校區別、学年別内訳
    - ③待機児童の特徴と課題
  - (2)放課後児童対策パッケージについて
    - ①同パッケージの内容と期間
    - ②本市での同パッケージにおける取組
    - ③学校施設内の設置や特別教室の一時的利用の事例と数
    - ④同パッケージに対する教育委員会の認識と待機児童解消のための連携についての見解
  - (3)待機児童数のカウント方法の課題について
    - ①ある児童クラブ運営委員会からの要望と意向調査の内容
    - ②待機児童が表面化しない課題についての認識
    - ③潜在的な待機児童を可視化するために独自の利用意向調査をすべき
  - (4)子どもたちの安心安全な放課後を確保するため児童クラブの待機児童を解消すべき

5 記録的な猛暑と学校体育館への空調の設置について

- (1) 熱中症警戒アラートの回数と本市の現状
- (2) 避難所としての空調の必要性についての認識と課題
- (3) 学校施設としての観点について
  - ① 学校における熱中症対策ガイドライン（鹿児島県版）の内容と本市の対応
  - ② 熱中症になった児童・生徒の数と例年との比較
  - ③ 体育の授業や校外学習などへの猛暑時の対応
  - ④ 体育の授業の安全確保のための空調の必要性についての認識
- (4) 学校体育館への空調の設置に係る国の動向
- (5) 学校体育館への空調の設置を計画的に進めるべき。見解

6 市営住宅行政について

- (1) 台風 10 号の被害について
  - ① 被害件数と主な要因
  - ② 復旧の状況と修繕費用の見通し及び財源
  - ③ 台風の強い風に際して雨戸の設置についての考え方
- (2) 駐車場管理について
  - ① 来客用駐車場管理の再委託の状況と各駐車場管理組合の現状
  - ② 直営の考え方及び管理の方法
  - ③ 駐車場管理の課題について
    - ア. 管理組合がこれまでしてきた管理が引き継がれていない
    - イ. 駐車場の配置が福祉会等に知らされていないことから日常点検ができない
    - ウ. 駐車場周辺の管理として草刈りなどの対応
  - ④ 駐車場の適切な管理についての見解

7 吉野地域のまちづくりについて

- (1) 中別府一ヶ谷線の側溝の溢水に対するこれまでの対応
- (2) 今年 7 月の大雨でさらに下流側で側溝が溢水し敷地内に浸水した状況についての認識
- (3) 吉野東小学校区周辺の宅地開発の件数（過去 3 年間）
- (4) 宅地開発に伴う接続先排水路の許可に当たっての要件
- (5) 既存側溝に幾つもの新興団地が接続することで容量が不足するという認識
- (6) 中別府一ヶ谷線をはじめ吉野東地域の既存側溝の容量の調査と改善が必要では。見解

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	教 育 長 関 係 局 長	市 立 病 院 長
7	こじま 洋子	公 明 党		

発言の要旨

<p>1 災害に備えるトイレの確保等について</p> <p>(1)能登半島地震における携帯トイレの備蓄について</p> <p>①発災以前の備蓄数（石川県及び基礎自治体）</p> <p>②発災後の国による携帯トイレの追加供給数</p> <p>(2)本市の携帯トイレ等の備蓄保管場所及び備蓄数</p> <p>(3)「令和6年能登半島地震に係る災害応急対応の自主点検レポート」における能登半島地震の特徴を踏まえた教訓と今後の災害対応について</p> <p>①本市における携帯トイレ・簡易トイレ備蓄、仮設トイレ確保等のための協定締結状況</p> <p>②さらなる協定締結についての考え</p> <p>③本市の災害時のトイレ確保・管理計画の策定についての見解</p> <p>2 医療的ケア児等への切れ目のない支援の充実について</p> <p>(1)鹿児島県医療的ケア児等支援センターの活動方針の内容について</p> <p>①相談対応</p> <p>②現場支援</p> <p>③人材育成</p> <p>④関係機関・団体等との連携ネットワークの構築</p> <p>(2)本市における医療的ケア児に関する就学相談について</p> <p>①医療的ケア児についての相談件数（令和3～5年度）</p> <p>②主な相談内容</p> <p>③現在行われている医療的ケアの内容</p> <p>④就学後の保護者の声</p> <p>(3)鹿児島市保育所等における医療的ケア児受入れに係るガイドラインについて</p> <p>①同ガイドライン策定後の本市の対応状況</p> <p>②同ガイドラインに基づく取組に対する実績</p> <p>③今後の対応方針</p> <p>(4)医療的ケア児等への切れ目のない支援の充実に向けての今後の取組</p> <p>3 児童の入院時における付添人（家族等）への支援について</p> <p>(1)国による入院患者の家族等による付添いに関する実態調査（令和3年）について</p> <p>①調査の背景及び目的</p> <p>②調査対象及び調査方法</p> <p>③調査により明らかになった課題</p> <p>(2)市立病院における付添入院に関する現状及び課題</p> <p>(3)病院としての付添人等への支援についての考え</p>
--

- 4 町内会役員等の担い手不足を踏まえた地域活動の継続等について
- (1)本市における町内会加入率の推移（過去10年の5年ごと）
  - (2)町内会実態調査等報告書（令和4年度）について
    - ①同調査の目的及び概要
    - ②年代別の加入状況の特徴
    - ③一度も町内会に加入したことがない方のその理由上位3項目の内容及び割合
    - ④町内会に加入しやすくなると思われる取組についての上位2項目の内容
    - ⑤特に必要だと思う地域活動の上位3項目の内容
    - ⑥町内会の運営について特に悩んでいること上位3項目の内容及び割合
  - (3)町内会に関する取組について
    - ①町内会が行った負担軽減の事例
    - ②本市における町内会加入促進の取組
  - (4)町内会役員等の担い手不足解消のためにインセンティブを付与することへの見解
- 5 循環型社会の実現に向けたリユース・リサイクルの推進について
- (1)令和6年度鹿児島市一般廃棄物処理実施計画について
    - ①目的・概要
    - ②ごみ処理実施計画における6年度の取組
    - ③基本方針1「3Rの推進」について資源の有効活用を図るための施策
  - (2)鎌倉市における民間事業者と連携したリユースの取組内容及び評価
  - (3)リユース・リサイクル活動促進と市民サービス向上のための民間事業者と連携した取組の導入
- 6 谷山地区のにぎわい創出のためのJR指宿枕崎線の高架下の有効活用について
- (1)高架下利用の経緯と目的
  - (2)高架下利用計画策定時の地元等の意向について
    - ①地元等意向調査の内容
    - ②調査結果
  - (3)高架下利用計画の具体的内容
  - (4)高架下（遊歩道）の有効活用について
    - ①市民等によるイベント等での活用に関する要望の状況
    - ②イベント等での活用にあたっての課題
    - ③今後の市民等による様々な活用に関する本市の考え方
- 7 地域の歴史を伝える「影野稚蠶共同飼育所」の保存及び活用等について
- (1)市文化財保存活用地域計画の目的及び概要
  - (2)文化財保存活用地域計画作成協議会について
    - ①目的・概要
    - ②令和6年度第2回同協議会の内容
  - (3)文化財保存活用地域計画地域別ワークショップの目的・概要・参加者数・成果
  - (4)「影野稚蠶共同飼育所」について
    - ①稚蠶共同飼育所とは
    - ②「影野稚蠶共同飼育所」の概要
    - ③国の重要な産業であった養蚕を伝える歴史的な建造物としての同飼育所の保存及び活用についての見解

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	教 育 長	関 係 局 長
8	田代よしき	無 所 属		

発言の要旨

<p>1 市が設置する児童クラブの開所時間の延長について</p> <p>(1)本市の現状</p> <p>(2)九州内の政令指定都市及び中核市の現状</p> <p>(3)見直しの考え</p> <p>2 市職員のアルムナイ採用について</p> <p>(1)アルムナイ採用とは</p> <p>(2)他都市の取組状況</p> <p>(3)導入に向けた課題と今後の取組</p> <p>3 鹿児島市立美術館について</p> <p>(1)美術品の管理体制</p> <p>(2)美術品の資産価値</p> <p>(3)集客力・認知度向上のための取組</p> <p>4 市電について</p> <p>(1)クレジットカードタッチ決済データの活用方法</p> <p>(2)今後の決済方法の拡充について</p> <p>①QRコード</p> <p>②全国交通系ICカード</p> <p>(3)女性優先車両設置の可能性</p> <p>5 登下校中の子どもの個人情報について</p> <p>(1)本市における声かけ、付きまとい等事案の件数（令和5年、中学生以下、市内3警察署別）</p> <p>(2)安全面から登下校中の名札使用を制限することに対する教育委員会の見解</p> <p>6 鹿児島ユナイテッドFCについて</p> <p>(1)J2所属チームのクラブハウスの設置状況</p> <p>(2)クラブハウスの建設予定時期と資金調達の現状</p> <p>(3)企業版ふるさと納税を活用した本市の支援策及びこれまでの支援額</p> <p>7 鹿児島マラソンについて</p> <p>(1)参加料の早期割引実施の理由</p> <p>(2)将来のコース変更の可能性</p> <p>(3)マラソン復路の応援の活性化</p> <p>(4)県内外からの参加者を増やす取組</p>
---

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	教 育 長	
9	池田ゆうせい	未来かごしま		

発言の要旨

<p>1 市立小中学校の教科用図書採択について</p> <p>(1)本市における令和7年度の教科用図書採択の仕組み</p> <p>(2)鹿児島地区教科用図書採択協議会の主な委員</p> <p>(3)教科用図書を研究する際の観点</p> <p>(4)教科用図書採択事務における課題</p> <p>(5)教科用図書採択の透明性に向けた今後の方針</p> <p>2 本市の特別支援学級の現状について</p> <p>(1)本市における特別支援学級数と在籍している児童生徒数の推移</p> <p>(2)特別支援学級が増加している要因</p> <p>(3)職員の資質向上</p> <p>(4)学校における関係機関との連携</p>
--

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長 選 管 事 務 局 長
10	向 江 か ほ り	立 憲 社 民	農 業 委 員 会 事 務 局 長	

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 塩田知事の政治資金問題について</p> <p>① 市長の受け止め</p> <p>② 政治家としての心構え</p> <p>③ 下鶴市長が行った政治資金パーティーの回数と集まった金額</p> <p>④ 下鶴市長は選挙資金寄附などを含め適正に処理されているか</p> <p>(2) 情報発信の在り方</p> <p>2 テレワーク推進事業について</p> <p>(1) 事業の目的</p> <p>(2) 予算内訳</p> <p>(3) テレワークを行った職員の数</p> <p>(4) テレワークを行うための個人情報の取扱い</p> <p>(5) 効果と見えてきた課題</p> <p>(6) 健康に対する配慮とその取組の情報共有</p> <p>(7) 他都市と比較して本市の進捗状況</p> <p>(8) 肝付町の取組について</p> <p>① 取組の経緯、概要</p> <p>② 事業効果</p> <p>③ コストや導入までのスケジュール</p> <p>④ 取り組んだ中の工夫</p> <p>(9) テレワークを含めた今後の展望</p> <p>(10) 地域のつながりも含めたやり取りを考えてはどうか、当局の見解</p> <p>3 放課後等デイサービスについて</p> <p>(1) 指定事業所数とその内訳</p> <p>(2) 各事業所の活動状況、受入れ体制、それに対する利用者の声</p> <p>(3) 放課後等デイサービスの各事業所に対する課題</p> <p>(4) ケア度に応じた実情の把握方法</p> <p>(5) 現在の指導監査状況、本市の責務と認識</p> <p>(6) 事業所が変わるときの流れとそのサポート体制</p> <p>(7) 事業所によってサービスに違いがあるが、それらに対する対応</p> <p>(8) 療育の質を確保するための本市の責務</p> <p>(9) 本市のホームページにある指定事業所の一覧掲載の工夫が必要と考えるが当局の見解</p>
--

## 4 働く世代の健康づくり事業について

- (1)本市の「鹿児島市健康づくりパートナー」の事業所数の推移
- (2)効果と特徴的な取組及び課題
- (3)事業所からの評価
- (4)鹿児島市健康づくりパートナー実績報告書・アンケートについて
  - ①実績報告書・アンケートの結果
  - ②新たに追加された項目とその狙い
  - ③アンケート等を通じて見えてきた課題
- (5)今後の考え方

## 5 鹿児島市の選挙について

- (1)同時選挙と同日選挙の違い
- (2)予算について
  - ①鹿児島市議会議員選挙
  - ②鹿児島市長選挙
  - ③鹿児島市議会議員補欠選挙
- (3)鹿児島市長選挙と鹿児島市議会議員選挙を同時に行う場合抑えることができる予算はどれぐらいか
- (4)所沢市と神奈川県鎌倉市が共同で提出した規制改革の提案の詳細
- (5)費用対効果を考え、創意工夫を検討してみてもどうか、当局の見解

## 6 本市職員の女子事務服について

- (1)いつから、なぜ事務服があるのか
- (2)事務服を着用している人数・主な部署
- (3)かかる予算
- (4)事務服の着用は義務なのか
- (5)今後の事務服の必要性に対する認識
- (6)アンケートの目的と結果
- (7)女子事務服は廃止すべきではないか、当局の見解

## 7 農業委員会について

- (1)農業委員の登用に関する改善点と対応状況

## 8 鹿児島市消防団の女性分団について

- (1)目的、組織体制
- (2)活動拠点
- (3)団員数と充足率
- (4)入団希望者の有無と対応
- (5)女性分団に対する評価
- (6)定数の拡充に対する考えはないか
- (7)女性団員の意向を確認した上で男性団員と共に配置することを検討してみてもどうか

## 9 地震時の退避場所（指定緊急避難場所）について

- (1) 現在の指定場所の定義と条件
- (2) 地震時の退避場所の箇所数と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）にかかっている箇所数
- (3) 土砂災害特別警戒区域にかかっているにもかかわらず指定されている理由
- (4) 災害危険区域にかかっている地震時の退避場所への対応
- (5) 今後の対応

## 10 坂元地域の課題について

## (1) 都市計画道路催馬楽坂線について

- ① 道路の課題
- ② II期区間の進捗状況（用地買収、整備）
- ③ III期区間の整備と見通し
- ④ 本市からの要望

## (2) 坂元日枝神社線について

- ① 道路の課題認識
- ② 地域からの要望
- ③ 鹿児島商業高校からの要望とそれに対する課題
- ④ 商業高校の生徒数の推移（過去5年）
- ⑤ 早期の着工をすべき、当局の見解

## (3) 東坂元4丁目の辻ヶ丘団地バス停付近の交差点について

- ① 信号機設置に向けた交差点改良の進捗状況、その結果
- ② 停留所の集約について関係機関との協議内容
- ③ 令和7年度以降のスケジュール